



# ひよこぐみだより R4年 11月

寒さが少しづつ感じられる季節となりました。冷たい風に鼻や頬を赤くしながらも元気いっぱい遊ぶ子ども達にたくましさを感じます。ひよこ組の子ども達は意欲いっぱい、「じぶんでやりたい!!」という気持ちが強くなっています。食事やトイレなど個人差はありますが、出来ることも増えてきました。またお友だちや保育士のまねっこをするのもとても楽しそうです。自分でやってみようとしている時には、そっと手助けもしながら見守り、成功体験を重ねることによって自尊心を高めていきたいと思っています。



【10月・11月に新しいお友だちが増えました。】



自我が芽生えてきて思い通りにいかないことや嫌なことがあると怒ったり、手が出たりするようになりました。時々泣くこともありますが、泣いている子がいると『よしよし』してくれます。目が合うと微笑み合う姿が見られるようになっています。



トイレに誘うと便座に座り、自分で紙パンツやズボンをはこうと頑張っています。保育士はそばでそっと手助けもしながらゆっくり見守っています。



少しづつ喃語や単語がでてきて自分の思いを伝えようとしています。うまく伝えられないことも多いので保育士が気持ちをくみ取り、優しく代弁するようにしています。



食事の準備を始めると自分から手を洗いに来ます。手を洗うと自分のマークの椅子を探して座ります。食事の手づかみからスプーンを使おうとするようになっていきます。



保育士と手をつないで歩ける子が増えてきました。